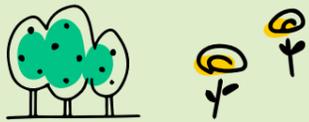




人々の幸せに 貢献する



CHANGE GIFU CITY



岐阜を動かす

政治活動20年の節目に
感謝の気持ちをこめて

2004年10月末に株式会社UFJ銀行(当時)を退職し、
岐阜に戻ってきました。

政治を志し、活動を始めて早くも20年が経ちました。
20年の内、半分の10年は浪人期間でしたが、多くの
皆様に助けていただき、得難い経験をすることができ
ました。政治の第一線に立ち、私の人生ビジョンである
「人々の幸せに貢献する」日々を歩ませていただい
ていることに、心から感謝申し上げます。



柴橋

正直

柴橋正直後援会
LINE 公式アカウント



選ばれる街 岐阜市へ



2018年2月に岐阜市長に就任し、「岐阜を動かす」を掲げ、積年の課題解決に道筋をつけることができました。名鉄名古屋本線鉄道高架化事業、岐阜駅北中央東地区・中央西地区第一種市街地再開発事業、旧長崎屋跡地の柳ヶ瀬広場整備など、中心市街地の象徴的な課題に着手し、事業が進んでいます。

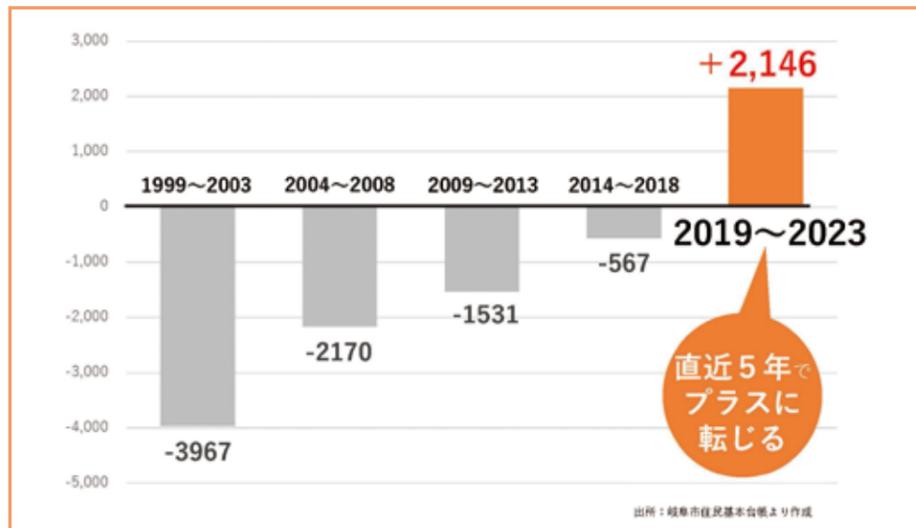
2022年2月に2期目を迎えました。「岐阜を動かす」課題は、中心市街地だけでなく、多様な地域課題があり、岐阜薬科大学のキャンパス移転・統合、三輪地区・柳津地区のものづくり産業等集積地基本計画、JR長森駅北口交通広場整備などに取り組んでいます。また、岐阜市のウィークポイントとして掲げた働く場づくりでは、三輪地区の農業6次化拠点、柳津地区の企業立地に取り組み、立地を希望する企業を支援しています。

市政の不変の方針「こどもファースト」では、2019年7月3日に発生したいじめ重大事態を教訓に、岐阜市教育大綱の改定、いじめ対策監の配置などに取り組むとともに、不登校児童・生徒の増加に対して、学びの多様化学校「草潤中学校」開校、草潤中の分教室として中学校の校内フリースペースの開設、オンラインを活用したメタバース教室の開設、異年齢コミュニケーションを活かした小中一貫の義務教育学校の開校準備の他、子どもの健康サポート「ここたん」の活用や一人一台タブレットを活かしたスマート連絡帳、ぎふMIRAI'sの探究的な学びなど、一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育を推進しています。子育てでは、公立保育所の民営化により、老朽化した園舎の建て替えを進め、良質な保育環境の充実に取り組むとともに、放課後児童クラブの増設や民間委託の準備により、仕事と家庭の両立を支援しています。高等教育では、地域を担う人材育成が不可欠であり、岐阜市立女子短期大学の改革に取り組み、男女共学・四年制の公立大学へと発展させ、将来の岐阜市を支える人材を輩出できるように、道筋をつけます。

一方で、超高齢社会の進展により、様々な課題が発生しています。ひとり暮らしの高齢者世帯が2万世帯を超え、2024年度の市民意識調査においても、70代以上の高齢者の幸福度や生活満足度が相対的に低く、更に単身世帯はご夫婦、二世帯、三世帯家族に比べて低い結果が出ており、孤独や孤立、生活の課題に取り組まなければなりません。自治会加入率の低下など、地域コミュニティが弱体化することは、災害時の助け合いによる防災力を低下させます。空き家の増加や無縁墳墓の増加、老老介護の増加などの社会課題に対し、一つ一つ解決策を見出し、施策に反映していきます。

これからの地方自治体は、人口減少社会の影響を直接受けながら、課題に向き合い続けなければなりません。高齢化の進展や障がい児・者、子育て支援による社会保障関係経費の増大、金利引き上げによる公債費の増加、少子化や賃上げによる民間との人材獲得競争と人件費の上昇、

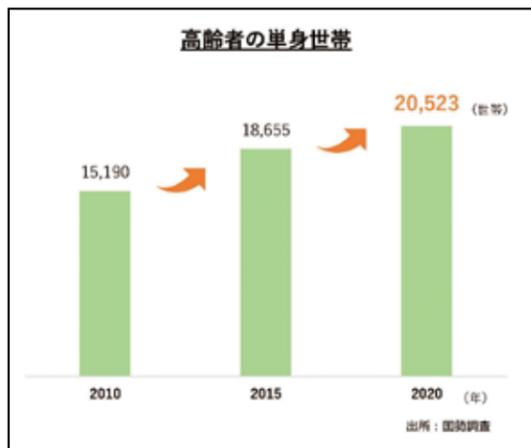
公共施設の老朽化による維持・管理・更新費用の増加など、自治体経営は難しい舵取りを迫られますが、持続可能な行財政改革を行いつつ、市民の皆様のご理解ご協力をいただき、岐阜を動かし続けます。今後ともお力添えを宜しくお願い致します。



▲ 社会動態の推移



▲ 年代別の社会動態 (30代・40代プラス)



▲ 高齢者の単身世帯



▲ 人口推計 (総人口及び指数)



▲ 市民意識調査幸福度

1 センターゾーンの未来風景&多様な地域課題の解決

国・岐阜県・名古屋鉄道株式会社・岐阜市の連携により、積年の課題である名鉄名古屋本線鉄道高架化事業が動いています。

本事業は、渋滞や踏切事故の解消のみならず、名鉄岐阜駅の再整備と長良橋通りの道路空間利活用（トランジットモール社会実験）など駅周辺のまちづくり、加納・茶所統合駅と周辺土地区画整理事業、境川の河川改修による治水安全度の向上及び境川の遊水地である JR 長森駅北口交通広場整備と駅周辺のまちづくり、都市計画道路岐阜駅那加線に繋がる上川手地区のまちづくりへと発展します。



▲ 名鉄名古屋本線鉄道高架化事業の全体図



▲ 中心市街地のまちづくり

中心市街地活性化のみならず、多様な地域課題の解決に取り組んでいます。

企業立地の他、黒野地区への岐阜薬科大学キャンパス移転・統合、社会インフラ整備では、国道 21 号線の岐阜市内立体化、国道 156 号線岐阜東バイパス整備、藍川橋架け替えなど、国・岐阜県と連携して取り組んでいます。地域コミュニティでは、防災上課題のある 4 つの公民館の建て替え問題に取り組み、徹明公民館を 2024 年 4 月竣工し、鷺山公民館を土地区画整理事業と連携し、鷺山子ども館との合築により 2025 年 4 月竣工予定です。新たな挑戦として、地域の皆様と連携し、芥見東・芥見南公民館の統合による建て替えを検討します。



▲ 岐阜薬科大学キャンパス移転・統合



▲ 国道 21 号線の岐阜市内立体化



▲ 国道 156 号線岐阜東バイパス整備



▲ 藍川橋架け替え



▲ 鷺山公民館・子ども館合築

岐阜駅北中央東地区・中央西地区第一種市街地再開発事業により、岐阜を動かします。

柳ヶ瀬グラスル 35 及びセントラルパーク金公園の完成により、新たな人の流れができました。リノベーションまちづくりを進め、リノベーションスクールによる人材育成や空き店舗補助による新規出店支援に取り組んできた柳ヶ瀬では、旧岐阜高島屋が閉店しましたが、旧長崎屋跡地の解体工事を進め、柳ヶ瀬広場整備を行うとともに、アーケードの老朽化問題について、当事者である柳ヶ瀬商店街の関係者の議論を見守りつつ連携します。2023 年度に実施した金華橋ストリートパークラインに引き続き、2024 年度も金華橋通りの道路空間利活用社会実験を行い、公共空間を活かしたまちづくりに取り組みます。



▲ 柳ヶ瀬周辺エリアの新規出店

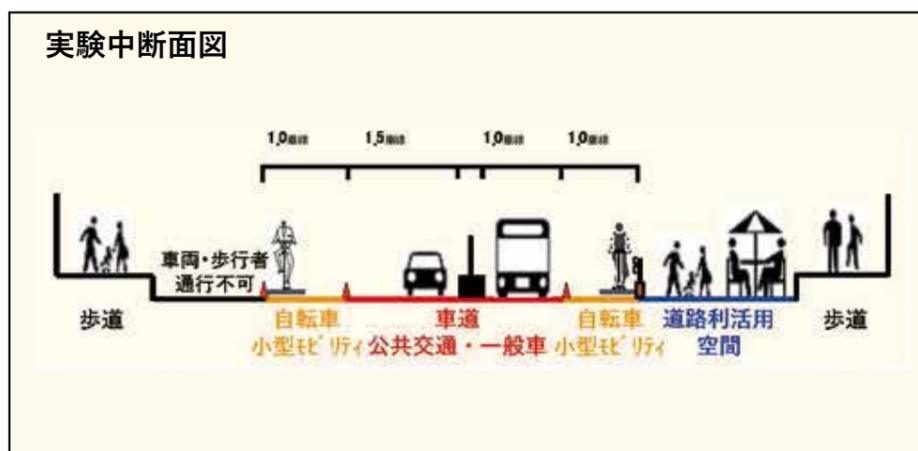


▲ リノベーションまちづくり



▲ 柳ヶ瀬広場整備（旧長崎屋跡地の解体）

道路空間利活用社会実験「金華橋ストリートパークライン」



くつろぎ場（中央図書館）

▲ 金華橋ストリートパークライン

運転手不足など課題を抱えている公共交通を守るため、自動運転技術を公共交通に活用する実証実験を行っています。

2023 年 11 月より国土交通省の支援を受け、5 年間の自動運転バス（GIFU HEART BUS）の継続運行を行っており、信号協調を全 36 箇所整備し、自動運転割合は 88% に達しています。全国の公共交通の課題解決を目指す岐阜市の挑戦は、日本のトップランナーであり、海外や日本全国から視察や乗車のために岐阜市を訪れていただき、交流人口の増加に寄与しています。沿道の住民の皆様、市内小学生にも体験乗車していただく機会を作っています。



▲ 自動運転バス GIFU HEART BUS

2 地域経済活性化

必要なインフラ整備、更なる立地協定の締結に取り組むとともに、企業の立地ニーズに応えるため、立地エリアの拡大にも取り組みます。

2期目の重点課題の一つが、企業立地による地域経済の活性化です。これまで岐阜市から企業が流出するとともに、企業立地のニーズに応えることができず、岐阜市のウィークポイントでした。選ばれる街岐阜市であるためには、働く場づくりと教育・子育て支援の両輪が必要です。「ものづくり産業等集積地計画」により、三輪地域では農業6次産業化による企業立地を進め、柳津地域では第2期計画について地区計画を決定し、2024年8月に1社立地協定を締結。また、スタートアップ支援にも力を入れており、2024年度は、経済部にスタートアップ推進室を設置し、支援体制を強化しています。



▲ 岐阜三輪スマート IC 周辺の農業6次化



▲ 柳津地区の企業立地



▲ 立地協定締結



▲ スタートアップ支援 GIFU IGNITE

3 本物志向の観光まちづくり

岐阜市には、市民の皆様の財産である金華山・岐阜城・岐阜公園・長良川・鶺鴒があります。

本物の歴史的価値に触れ、多くの方に岐阜へ訪れていただくために、「史跡岐阜城跡整備基本計画」に基づき、岐阜城山上部の発掘調査と樹木伐採を行っています。発掘調査によって、織田信長公の石垣が見つかった他、出土した円礫やかわけから、山上部に庭的空間や饗応施設があったのではないかと推測しています。2025年度開催予定のねんりんピック終了後に工事を開始できるように、山麓庭園整備の基本設計、岐阜城耐震化の実施設計、ガイダンス施設の実施設計に取り組んでいます。岐阜公園 Park-PFI により、飲食・物販等の施設を整備し、2025年春のオープンを目指します。



(イメージ図)

▲ 史跡岐阜城跡整備基本計画
城郭景観復元と庭園の復元整備



(イメージ図)

▲ 岐阜公園 Park-PFI



(イメージ図)



(イメージ図)

4 防災

南海トラフ巨大地震のリスクなどに備えるために家屋の倒壊による被害を減らす取り組みが必要です。

2024年1月1日に発生した能登半島地震や巨大地震注意が発表された南海トラフ巨大地震のリスクなどに備えるためには、既に取り組んできた小中学校体育館の空調整備、市内コミュニティセンターの福祉避難所の準備に加えて、耐震性が不十分な市内住宅31,000戸への強力な自助への支援により、旧耐震基準木造住宅の無料耐震診断、木造住宅耐震改修工事費用の助成による耐震工事の実施、避難行動要支援者への家具固定器具設置普及促進など、家屋の倒壊による被害を減らす取り組みが必要です。



5

こどもファースト

不変の方針「こどもファースト」は、あらゆる社会課題の突破口です。

なぜ絵本の読み聞かせをお勧めするのか？子育て支援施設“ツナグテ”と中保健センターがある柳ヶ瀬グラスル35のふぁみりーエリアに、絵本の読み聞かせコーナーを設置しました。“ツナグテ”で遊び、保健センターで健診を受けた後、子ども達が絵本に親しむきっかけを作っています。みんなの森ぎふメディアコスモスの図書館でカードを作ると絵本をプレゼントする事業、地域の児童館・児童センターの幼児室をリノベーションして絵本のコーナーを設置することで、地域でも絵本に触れる機会づくり、私立幼稚園の子どもたちへの絵本の読み聞かせも、ご家庭で絵本の読み聞かせをしていただきたいからです。絵本の読み聞かせによって、子ども達の読書力や想像力が豊かになり、親子の愛情あふれる触れ合いは、子ども達の心の成長や安定を促します。



▲ 絵本の読み聞かせ



▲ 子育て支援施設“ツナグテ”



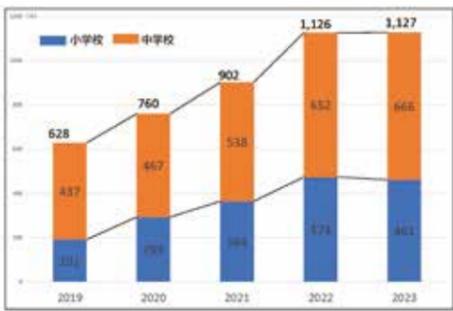
▲ 柳ヶ瀬グラスル35 ふぁみりーエリア



▲ 児童館の幼児室リノベーション

全ての人に居場所と出番がある社会

不登校



岐阜市の不登校児童生徒の推移

ひきこもりへ移行させない

こどもファースト

草潤中学校

2021年度に開校した東海地区初の公立の学びの多様化学校。「学校らしくない学校」をコンセプトとし、現在はオンライン受講を含めて平均約80%の生徒が出席しています。



学びの多様化学校草潤中学校

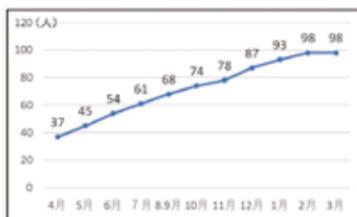
※不登校生徒を対象とした特別の教育を実施する学校

草潤パッケージ

校内フリースペース 10校

オンラインフリースペースの開設

草潤中学校の取り組みやノウハウから、一人ひとり自分のペースで安心して過ごせる場としてフリースペースを整備し、不登校の児童生徒への支援につなげます。



校内フリースペースの利用登録者状況 (2023(令和5)年度)



義務教育学校 藍川北学園

義務教育学校 2校

藍川小学校・藍川北中学校→藍川北学園
【開校時期 2025年4月 藍川北中学校に設置】
芥見東小学校・藍川東中学校→藍東学園
【開校時期 2026年4月 芥見東小学校に設置】
9年間の小中一貫教育を推進する義務教育学校(施設一体型)で、柔軟な教育過程編成、また一貫教育により、学ぶ場や成長の環境づくりをすることで、いじめや不登校の対策につなげていきます。

多様な学校形態

ひきこもり



8050問題へ移行させない

寄り添う福祉

ひきこもり相談室

2023年に、ひきこもりについての相談窓口を設置しました。保健師や精神保健福祉相談員が、電話やメール、面談などでお受けしております。また、ご自宅への訪問もできますので、寄り添った支援を行います。※面談は予約制になります。お電話もしくはメールにてご連絡ください。ご本人はもちろんですが、ご家族の方など、お悩みを抱える方もご相談ください。



問 ひきこもり相談室(市庁舎10階)
TEL:058-214-3703
(平日午前8:45~午後5:30)
mail:hikikomori-soudan@city.gifu.gifu.jp

ひきこもり支援連携会議

ひきこもり支援に携わる団体やご家族、有職者などからなる会議を開催し、ネットワークづくりや多様な支援策を協議します。

重層的支援推進室

8050問題のお困りごと⇒
介護・障がい・子ども・子育て・生活困窮など、分野横断的な支援につなげるネットワークを形成します。

『総合的な支援体制構築事業』
福祉まるごと支援員の配置
2021年:(福)岐阜市社会福祉協議会 3名
2022年:重層的支援推進室 1名
2023年:(福)岐阜市社会福祉協議会
スーパーバイザー 1名

福祉まるごと支援員は、複数の分野での困難な事例の課題を解き、地域包括支援センターなどの支援機関の役割分担を調整し、適切な支援につなげます。

問 重層的支援推進室 TEL:058-214-2797

分野横断的解決型支援・・・多機関での連携

伴走型支援・・・緩やかにつながり続ける

就労を希望する場合

ワークダイバーシティ

ワークダイバーシティ推進事業

WORK! DIVERSITY 実証化モデル事業
就労支援サービスの提供
・・・既存の障がい福祉制度の枠組みでは対象とならない方(公財)日本財団のモデル事業

問 (一社) サステイナブル・サポート
TEL:058-216-0520(平日午前9:00~午後6:00)



超短時間雇用創出事業

長時間勤務が難しい方への社会参加や自立の推進
・・・超短時間雇用への取り組み

問 岐阜市超短時間ワーク応援センター
TEL:058-215-8280(平日午前8:30~午後5:00)



多様な働き方

すべての人に、居場所と出番 = 幸せに貢献

2025年度予算編成に向けて

10月から来年度の予算編成が本格的に始まりました。今年度も7月には「令和7年度当初予算編成の準備にあたって」を庁内に示し、議論を重ねています。予算編成におけるキーワードとして、EBPM(証拠に基づく政策立案)とともに、働きがい改革を掲げました。人口減少・少子化や民間企業の賃上げなどにより、地方自治体の採用環境は厳しさを増しています。職員こそが市政や市民サービスを支える力であり、人材の確保と育成に取り組めます。予算編成方針として、4つの政策ベクトル「こども

ファースト」「経済活性化」「岐阜を動かす社会基盤整備」「持続可能で幸せな市民生活」を掲げ、政策の成果を追求します。

例えば、児童生徒の不登校対策を更に進めるとともに、未来の学校を見据えた義務教育学校の開校に取り組むこと。18歳までの医療費の無償化に取り組むこと。岐阜高島屋の閉店やアーケードの老朽化など柳ヶ瀬商店街の課題に対し、官民連携により取り組むこと。不登校・ひきこもり・8050問題に一体的に取り組むとともに、超高齢社会におけるひ

とり暮らし高齢者の孤独・孤立問題に対する施策を構築することなどに取り組むべく、予算編成を行います。



岐阜市長選挙 公約の進捗

- 01 岐阜を動かす
- 02 ワークダイバーシティ
- 03 不変の方針「こどもファースト」
- 04 寄り添う福祉

2022年2月の岐阜市長選挙で掲げた公約の進捗状況を報告します

Priority policy

重点
政策

01

岐阜を動かす

積年の課題に対し解決の道筋を示し、市民の皆様に変化を実感していただくために、「センターゾーンの未来風景」を提示し、岐阜を動かしてきました。人口の社会動態が改善し、選ばれる街岐阜市へと着実に前進しています。



岐阜都市圏の玄関口の整備

公約

岐阜駅北中央東・中央西地区第一種市街地再開発事業の推進

進捗

事業計画認可・組合設立、ツインタワーのイメージパース発表を経て、再開発ビルの実施設計に取り組みつつ、建築工事費高騰の課題を克服すべく関係者で協議を重ねています。除却工事、新築工事に着手できるように、引き続き支援します。

公約

名鉄名古屋本線鉄道高架化事業と 加納・茶所統合駅周辺土地区画整理事業の推進

進捗

8月現在で約2割の用地取得を実施。引き続き県市連携で用地取得を進めます。

公約

高島屋南地区第一種市街地再開発事業の推進

進捗

柳ヶ瀬グラスル35の竣工、柳ヶ瀬子育て支援施設「ツナグテ」、柳ヶ瀬健康運動施設「ウゴクテ」の開設、中保健センターの移転により**実現しました**。

本物志向の観光まちづくり

公約

金華山の山上部発掘調査、山上部城郭景観復元、山麓庭園整備、岐阜城耐震化、ガイダンス施設整備など「史跡岐阜城跡整備基本計画」に基づく整備と岐阜公園再整備の推進

進捗

2025年度開催予定のねりんピック終了後に工事を開始できるように、山上部の発掘調査、樹木伐採、山麓庭園整備の基本設計、岐阜城耐震化の実施設計、ガイダンス施設の実施設計に取り組んでいます。また、本年「岐阜公園再整備基本計画」を改定。岐阜公園の都市計画変更に取り組み、山上部の整備区域を都市計画公園区域に追加します。岐阜公園Park-PFIにより、飲食・物販等の施設を整備し、2025年春のオープンを目指します。

公約

長良川プロムナードを活用した民間事業者による賑わいの創出、民間活力による旧いとう旅館の整備・運営、高級観覧船、水上座敷など多様な鵜飼観覧及びオフシーズンの遊覧船運行など、「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」による水辺空間活用や持続可能な鵜飼に繋げる施策の推進

進捗

長良川右岸プロムナードの電源を整備し、長良川夜市(鵜飼開催時の毎週土曜)など民間の取り組みを支援。旧いとう旅館の整備と営業開始、高級観覧船の導入、鵜飼オフシーズンの遊覧船運行を実施しており、**実現しました**。

道路空間や公園など公共空間を活用したまちづくり

公約

「岐阜市中心市街地道路空間利活用懇談会」での議論を進めるなど、公共交通と歩行者が共存し、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を目指し、センターゾーンにおける道路空間を活用したまちづくりを推進

進捗

「居心地が良く歩きたくなる岐阜市のまちなか」のパンフレットを2023年4月に作成し、道路空間のあり方のイメージを提示。2023年度に、金華橋通り社会実験(金華橋ストリートパークライン)、長良橋通りトランジットモール社会実験を実施。2024年度は、金華橋通り社会実験を再度実施予定。センターゾーン道路空間利活用基本計画の検討を進めています。

公約

金公園の再整備によるセントラルパーク化の推進

進捗

セントラルパーク金公園がオープン。多くの市民にご利用いただいております。実現しました。

公約

旧長崎屋跡地の柳ヶ瀬広場整備の推進

進捗

権利者と各種契約を締結。2024年8月に解体工事着手、2025年3月末に解体完了予定。柳ヶ瀬広場整備に向けて、整備計画策定を進めていきます。

公約

岐阜市本庁舎跡について、長期的な活用を見据え、国の行政施設を含めた活用を視野に検討。また、南庁舎跡について、インキュベーション機能やシェアオフィス機能などに加え、新たな創業・起業を志す人材の育成など、しごととしごとを担うひとを支え、育む機能による活用について民間活力を最大限に活用しながら検討

進捗

公募型プロポーザルにより十六FGを優先交渉権者に決定し、基本協定を締結。本庁舎跡地の廃棄物撤去、水路移設を進めており、2025年に十六FGへ土地の貸付を開始予定。市民が活用できるオープンスペースも含めた十六FGのオフィス棟は、2027年度竣工予定です。南庁舎跡については、優先交渉権者の選定に至らず。

社会インフラや公共交通を活かしたまちづくり

公約

東海環状自動車道IC関連道路、国道21号岐阜市内立体化、156号岐阜東バイパス第3工区、金町那加岩地線、長良糸貫線など広域道路ネットワーク形成の推進

進捗

伊自良川大橋が開通し、長良糸貫線と折立大学北線の開通式を、県市連携の下、同時に実施するなど、岐阜インターチェンジのアクセス道路の着実な整備を推進。国道21号の岐阜市内立体化工事がスタートし、橋脚を建設するスペースを確保するための道路切り直し工事が進捗。金町那加岩地線、長良糸貫線は用地取得と工事等を実施するなど事業を推進。引き続き国土交通省や県への要望活動を行います。

公約

岐阜市立岐阜薬科大学の黒野地区でのキャンパス整備統合の推進による岐阜大学と連携した学術研究拠点・ライフサイエンス拠点の形成の推進によるIC周辺のまちづくりの推進

進捗

キャンパス整備基本設計の実施、岐阜薬科大学・岐阜大学連携によるパンフレット「ライフサイエンス拠点の形成に向けて」の作成・配布などを行っています。2024年度は地権者に個別に説明し、用地取得に取り組めます。

公約

JR長森駅北口交通広場整備など長森駅周辺まちづくりの推進

進捗

アクセス道路整備と南口舗装工事に続き、ロータリーや駐輪場の整備など北口交通広場整備を実施し、2024年4月にオープニング記念式典を実施し、実現しました。トイレの設計を行い、設置予定。長森駅周辺のまちづくりについても検討を進めています。

公約

公共交通への自動運転技術の導入を推進

進捗

2023年11月より国土交通省の支援を受け、5年間の自動運転バス(GIFU HEART BUS)の継続運行を行っており、実現しました。信号協調を全36箇所整備し、自動運転割合は88%に達しています。

Priority policy

重点
政策

02

ワークダイバーシティ



年齢や性別、障がいの有無等に関わらず、一人ひとりが持てる力を発揮し、居場所と出番がある社会をつくるのが、私の使命です。私たちが幸せを実感する上で、働くことは大切な機会であり、多様な働き方によって、誰もが働くことができるワークダイバーシティ社会により、働くことを土台とするまちづくりを推進します。

居場所と出番がある社会づくり

公約

女性、若者、ひきこもり、外国人、障がいのある方など多様な人材の働き方に関する相談窓口を設置し支援

進捗

ワークダイバーシティ推進事業により、働きづらさや生きづらさを抱える方に対し、公益財団法人日本財団のモデル事業を活用した就労支援に取り組むとともに、政策実現会議の座長を務め、国への政策提言を進めています。また、ソフトバンクと連携したテレワークを活用したショートタイムワーク事業により、子育てや介護のため働きたくても働くことが困難な市民の働く機会を作っています。福祉部福祉政策課に2023年度からひきこもり相談室を設置し、本庁舎にひきこもり相談窓口を開設。当事者やご家族の相談が増加しています。2023年度末に岐阜市ひきこもり支援連携会議を立ち上げ、ひきこもり支援施策を議論しています。

公約

障がいのある方、ひきこもりなど長時間働くことが困難な方に対して、週20時間未満の雇用を創出するため、「(仮称)超短時間ワーク応援センター」を設置し、求職者と企業のマッチングを行うなど超短時間雇用創出事業の推進

進捗

岐阜県障がい者総合就労支援センター内に「岐阜市超短時間ワーク応援センター」を開設し、ワーカー登録者と企業のマッチングを行うなど、超短時間雇用創出事業に取り組んでおり、実現しました。

働く場づくり・産業振興

公約

ものづくり産業等集積地計画など企業誘致による働く場の確保の推進、農業6次化拠点整備などによる企業誘致の推進

進捗

「ものづくり産業等集積地計画」推進事業により、三輪地域では農業6次産業化による企業立地を進めるため、地権者及び参入希望企業の合意形成支援を行うとともに、必要なインフラ整備に取り組んでいます。柳津地域では、第2期計画について地区計画を決定し、地権者及び進出企業、市の説明会を開催し、合意形成を支援。2024年8月に1社立地協定を締結。必要なインフラ整備にも取り組んでおり、更なる企業立地を進めます。

公約

生産緑地制度活用などによる都市農業の振興

進捗

生産緑地地区の都市計画決定を実施し、生産緑地制度を導入。市橋、島、合渡、長森東、則武及び長良地内において独自要件を設けた税制優遇を行っており、実現しました。

公約

Neo work-Gifuの伴走型支援によるスタートアップ支援事業の推進

進捗

ぎふスタートアップ支援事業、スタートアップ支援補助金などにより、岐阜市で新たなビジネスに挑戦する人材の支援に取り組んでいます。2024年度は、経済部にスタートアップ推進室を設置し、支援体制を強化するなど、実現しました。

不変の方針「こどもファースト」

子ども達にとって生きやすい社会は、高齢者、障がい者、外国人、女性など、あらゆる市民にとって生きやすい社会です。こどもファーストを突破口に取り組みます。いじめ重大事態の教訓を生かし、教育大綱が掲げる目指す子ども、学校・教職員、家庭・地域の姿を実現するため、教育を土台とするまちづくりを推進します。



切れ目のない子育て支援



公約

コロナ禍により支援の必要性が高まっている
特定妊婦の支援

進捗

子育て世帯訪問支援事業などを行い、切れ目のない支援に継続して取り組んでおり、**実現しました。**

公約

県との連携による児童虐待防止の更なる推進

進捗

県中央子ども相談センター・県警・岐阜市・市教育委員会が連携し、児童虐待等に早期に対応する「こどもサポート総合センター」をエールぎふ内に開設し、関係機関の連携により必要な支援を行っており、**実現しました。**

公約

公立保育所のDX推進や保育所民営化による園舎建て替え支援など保育所の環境改善の推進

進捗

公立保育所業務ICT化推進事業を進めています。岐阜市第三次公立保育所民営化基本計画を策定し、9箇所の子立保育所を2024年度までに民営化し、園舎の建て替えを支援するなど、保育所の環境改善に取り組んでいます。

公約

病児・病後児保育の定員拡大

進捗

共働き世帯でも子育てと仕事を両立する際の不安を解消するため、市内の民間7施設と、広域利用に関する協定を締結した市外16の施設に業務委託し、病児・病後児保育事業に継続して取り組んでいます。

公約

高島屋南地区第一種市街地再開発事業による
子育て支援施設の整備

進捗

柳ヶ瀬グラスル35に岐阜市子育て支援施設「ツナグテ」を整備。多くの方に利用していただいております、**実現しました。**

公約

就職支援や離婚時の養育費の取り決め支援を行うなどひとり親家庭の支援

進捗

ひとり親家庭を支援する高等職業訓練促進給付金事業や養育費取り決め支援事業を行っており、**実現しました。**

公約

児童養護施設出身者の自立支援

進捗

児童養護施設退所者新生活応援金の制度を創設し、様々な課題を抱えながら社会に出ていく若者に対し、新生活の応援をしており、**実現しました。**

一人ひとりが価値ある大切な存在として互いに認め合う教育

公約

全学校配置のいじめ対策監を活かした
いじめ防止の総合的取り組みの推進

進捗

いじめの未然防止体制の更なる充実を図る観点から、全市立小中学校71校にいじめ対策監を配置するとともに、いじめ対策監を支援する「主任いじめ対策監」を配置するなど、総合的に取り組んでおり、**実現しました。**

公約

生命の尊厳への理解を深めるための
「生き方の探究学習」など、改訂した教育大綱に基づく教育の推進

進捗

生命の尊厳への理解を深める学び「生き方の探究学習」を進めるため、スーパーバイザーを派遣するなど、教育大綱の具現化に取り組んでおり、**実現しました。**



公約

生き方を学ぶ「ふるさと岐阜市学」や教科横断型の探究型プロジェクト学習である新STEAM教育など、子ども達の才能が開花する充実した学びの創出

進捗

岐阜市で活躍する人々と出会い、生き方に触れられる機会の創出を行う「ぎふMIRAI's」推進事業を実施しており、**実現しました。**

公約

デジタルシティズンシップ教育の浸透、タブレット端末を活用した個別の学習支援、子どもの健康サポートシステムの導入による悩み相談の仕組づくりなど、GIGAスクールの充実と個別最適な学びの推進

進捗

一人一台タブレットを導入し、個別最適な学びを実現するために、授業支援ソフトの導入や電子黒板のリニューアルを実施。採点支援システムの導入による教職員の業務改善、子どもの健康サポート事業「ココタン」の活用により、子ども達と向き合う時間や機会の確保、子ども達の気持ちの可視化に取り組んでいます。方県小・三輪北小・網代小をオンラインを活用した合同での遠隔授業等で繋ぐ小規模校つながる教室推進事業の実施など、GIGAスクールの充実を推進しており、**実現しました。**

公約

SNS(タブレット・スマートフォン)を活用した学校連絡の仕組みを構築するなど、教職員が子ども達と向き合う時間を確保するための「教育DX化」等学校業務改革の推進

進捗

保護者の利便性向上とともに教職員の働き方改革にも資する「スマート連絡帳」の導入が効果を上げており、**実現しました。**





公約

各中学校の教育相談室登校生徒への支援など、不登校特例校「草潤中学校」の学びを活かした不登校生徒への支援の充実

進捗

不登校生徒のための校内フリースペースを、2023年度に5中学校、2024年度に更に5中学校に開設。また、オンラインフリースペース整備事業により、メタバースでの教育や相談の機会を提供。子ども達の多様な教育の機会を整備しており、**実現しました。**

公約

岐阜市初の義務教育学校の開設など、多様な学校形態の推進

進捗

藍川小・藍川北中を2025年度に小中一貫の義務教育学校「藍川北学園」として開校すべく、藍川北中の校舎を改修しています。同じく芥見東小・藍川東中を2026年度に「藍東学園」として開校できるように、準備を進めています。

公約

体育館エアコン設置、トイレ洋式化、照明LED化など学校環境の改善

進捗

小中学校等体育館空調整備事業を実施し、2024年度で全館完了予定。子ども達や地域の皆様に空調を活用していただいています。トイレの洋式化にも引き続き取り組みます。

公約

地域・学校・県警などとの連携や「子ども安全対策推進係」の設置による通学路安全対策の推進

進捗

2023年度に通学路安全対策ワークショップを、市橋地区・島地区・柳津地区・芥見地区でモデル実施。学校・地元自治会・地域各種団体・PTA・警察・道路管理者などによる車両走行データなどを活用したワークショップを開催し、安全対策の方法や優先順位をデータに基づいた議論を通じて合意形成する住民自治を実現。2024年度・2025年度に、残り全ての地区でワークショップを実施し、3ヶ年で対策を行う予定です。

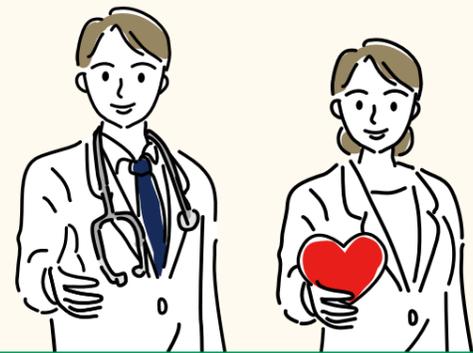


Priority policy

重点政策

04

寄り添う福祉



人生100年時代と言われる高齢社会の進展や8050問題など様々な課題を抱えて生活しておられる市民の皆様へ寄り添い、一人ひとりが幸せに生きられる社会づくりに取り組みます。

福祉の重層的支援の体制づくり

公約

福祉まるごと支援員などを活用した重層的支援体制を整備し、8050問題など複合課題への支援など重層的支援の推進

進捗

生活に困難を抱えている市民を支援し、誰一人取り残さない重層的なセーフティネットを構築するため、2022年度に重層的支援推進室を開設し、福祉まるごと支援員を増員。更に重層的支援を強化するため、福祉まるごと支援員を統括するスーパーバイザーを配置し、複雑化・複合化する様々な課題を抱えている市民に寄り添い支援する体制を整備しており、**実現しました。**

公約

社会的孤立であるひきこもり支援の推進体制の強化
ひきこもりの当事者や家族を支援するためのプラットフォームの整備

進捗

福祉部福祉政策課内に、2023年度からひきこもり相談室を設置し、本庁舎にひきこもり相談窓口を開設。当事者やご家族の相談が増加。また、家族を対象としたグループミーティングの開催、関係団体との連携など、家族の支援についても取り組んでいます。2023年度末に岐阜市ひきこもり支援連携会議を立ち上げ、ひきこもり支援施策を議論しており、**実現しました。**

人生100年時代の高齢社会対策

公約

歯科健診結果のデータベース化による介護予防支援の推進など、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進

進捗

2022年度から、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業として、国保データベースシステムの健診、医療、介護のデータを活用して、高齢者の健康課題を分析するとともに、支援が必要な人を抽出して個別に保健指導を行うほか、通いの場等においてフレイル予防のための健康相談、健康教育の取り組みをモデル実施。2024年度は全地区を対象を拡大。後期高齢者医療保険では、ぎふ・さわやか口腔健診結果のデジタル化に係るシステム開発に着手し、口腔の健康と全身の健康に関するエビデンスを蓄積し、オーラルフレイル対策に活用する取り組みを進めており、**実現しました。**

公約

介護人材の確保対策の推進

進捗

基準緩和型訪問介護サービス従事者育成事業や外国人介護人材確保・定着推進事業を実施し、介護人材の確保に取り組んでいます。

不安を抱える女性の支援

公約

「あんしんつながりステーション」における不安を抱える女性の相談支援

進捗

「あんしんつながりステーション」を継続して運営し、女性が気軽に来館し、安心して話をしたり、相談できる窓口を設置しており、**実現しました。**



ユニバーサル社会の推進

公約

「(仮称)障がいのある人もない人もともに暮らせる岐阜市づくり条例」の制定

進捗

2022年4月に「障がいのある人もない人もともに暮らせる岐阜市づくり条例」を施行しており、**実現しました。**

公約

障がいや難病などを抱えた市民が働くことができる超短時間雇用創出事業の推進

進捗

岐阜市超短時間ワーク応援センターを開設し、超短時間雇用創出事業に取り組んでおり、**実現しました。**

柴橋正直後援会 LINE 公式アカウント



友だち追加方法

STEP
01 「LINE」の
アイコンを押す



STEP
02 左下の
「ホーム」を押す



STEP
03 右上にある「+マーク」の
ついたアイコンを押す



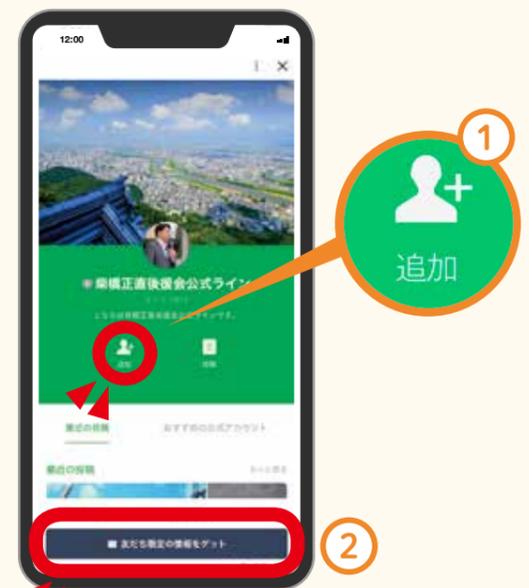
STEP
04 「QRコード」
を押す



STEP
05 カメラが開くので、
「カメラの枠」を
「QRコード」にあてる



STEP
06 ① か ② のボタンを
押して友だち追加完了!



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

柴橋正直公式SNS・WEBサイトはこちら

友だち追加で、
各種SNSも
ご覧いただけます



一人ひとりの声が未来の岐阜市を創る。岐阜市を創る輪を広げよう!

柴橋正直後援会
LINE 公式アカウント



しばはし正直
公式WEBサイト



YouTube
正直 Channel



*公約については、政策の進捗を定期的に公表します。

*公共施設マネジメント条例の制定、中期財政フレームの策定など行財政改革に取り組み、施策を推進できる財政運営を行います。

内部討議資料